

西播磨

相生市・たつの市・赤穂市・中央市・太子町・上郡町・佐用町

西播磨地域ビジョン情報誌

きらきら通信

NISHIHARIMA KIRA KIRA TSUUSHIN

2017.3

No. 34

西播磨地域夢会議



西播磨地域夢会議

(H29.2.12)

西播磨地域夢会議

委員長あいさつ

1

西播磨地域夢会議まとめ

2

推進チーム紹介

3~4

人と防災未来センター見学と

丹波地域ビジョン委員会との交流会

5

秋の花と緑を愛でる会

6

中央市森林セラピー応援隊養成講座

6

出る杭大会PR・編集後記

7



製作 西播磨地域ビジョン委員会

平成 28 年度 西播磨地域夢会議

西はりま未来カフェ ～まあるくなって話そう、未来の西播磨～

日時：平成 29 年 2 月 12 日(日) 13:00～

場所：たつの市青少年館・ホール棟



【第 1 部】

オープニング

- ・開会あいさつ

西播磨地域ビジョン委員会 委員長 香山 美穂
西播磨県民局長 早金 孝

- ・「兵庫 2030 年の展望」について

兵庫県企画県民部ビジョン局長 坂本 哲也

ワールドカフェ

コーディネーター 兵庫大学副学長 田端 和彦

【第 2 部】

発表・講評

- ・来賓紹介
- ・各グループ発表

講評 兵庫県知事 井戸 敏三

- ・閉会あいさつ

西播磨地域ビジョン委員会 副委員長 中村 友法

ワールドカフェとは・・・メンバーの組み合わせを変えながら、4～5人単位の小グループで話し合いを続けることにより、参加者全員が話し合っているような効果が得られる会話の手法。
今回は、4つのテーマで、20分×3ラウンドでの話し合いを行いました。



委員長あいさつ



西播磨地域ビジョン委員会
委員長 香山 美穂

「西はりま未来カフェ～まあるくなって話そう、未来の西播磨～」と題して兵庫・西播磨 2030 年の展望について語り合う、平成 28 年度西播磨地域夢会議がたつの市青少年館ホールにおいて 157 名の参加により開催されました。

西播磨地域が人口減少社会の中にあっても、地域住民の皆様が充実感を持って暮らすためにはどの様にすればよいのか、「ひとと暮らし」「まちや地域」「産業としごと」「安全安心」の 4 つのテーマに沿って地元の高校生を交えた 112 名が 24 グループに分かれ、ワールドカフェ方式により、西播磨の資源を如何に活用するか？等、活発な意見を交わしました。

～先の未来を考えて、その実現のために今、我々は何をすべきか？

地域住民である私たちが西播磨の将来を、今回の会議で終わることなく大切に守っていききたいと気付かせる場になりました。



西播磨地域夢会議 まとめ

今回の西播磨地域夢会議は「西はりま未来カフェ ～まあるくなって話そう、未来の西播磨～」と題し、2月の寒い時ではありましたが、ビジョン委員を含め112人の参加者と井戸知事をはじめとする多くの来賓の方々にもお越しいただき盛大に開催されました。

第1部ではまず「兵庫2030年の展望について」坂本ビジョン局長より説明を受け、兵庫のそして西播磨の2030年に向けて私たちがすべきことを知ったのち、当委員会の専門委員である田端氏をコーディネーターに迎え、“ひとと暮らし・まちや地域・産業としごと・安全安心”の4つのテーマで24グループに分かれ「ワールドカフェ」を行いました。通常のグループワークと違い、席替えをしながら様々な考えを知ることが出来、会議ツール「えんたくん」も活用し、まあるくなって未来の西播磨についての議論を深めることが出来ました。



第2部は、ワールドカフェで出た意見を発表をする場であり、4つのテーマそれぞれから

- ・ひとと暮らし「西播磨の自然を活かす社会をつくる」
- ・まちや地域「行政と市民、町民とのコミュニケーションを深める」
- ・産業としごと「若者には外に出て、知識を蓄えて戻ってきてもらう」
- ・安全安心「地域間の交流をすることで災害時に助け合える」



といったような未来の西播磨をよくするための様々な意見を、会場全体で共有することが出来ました。その中でも、主に高校生が発表する役目をしっかりとこなしており、非常に頼もしい限りでした。ひととおり発表があったのち、専門委員から客観的な解説をしていただき、最後に井戸知事からの講評で夢会議は終了いたしました。

今回の夢会議の中で、これから未来の西播磨を担う高校生が多数の意見を言ってくれて、彼らにとっては貴重な経験となったと思われますし、大人もそんな若い力に触れることでとても刺激になりました。「未来の西播磨は素晴らしいものになる」と多くの方が感じたことではないでしょうか。第1部・第2部をとおして体感したことを、参加者それぞれの活動に活かしていただければ幸いです。

このような機会の場を提供出来まして、我々西播磨地域ビジョン委員会としても時間をかけ準備したかひがあります。次回開催の時にはより多数の参加者に来ていただき、より実りある夢会議になるよう、反省点を踏まえ引き継いで参ります。今回の夢会議にお集まりのすべての皆様お疲れさまでした。誠にありがとうございました。

副委員長 中村 友法

ワールドカフェで発表された主な意見はこちらから↓

https://web.pref.hyogo.lg.jp/whk02/wh01_2_0000000064.html

健やか子ども応援チーム

健やか子ども応援チームは幼稚園・保育所を訪問し、園児に対して、論語の素読、茶の湯、生け花、絵本、わらべ歌、昔遊びなどを行っています。私も昨年から参加し、正座をして大きな声で論語素読する子ども達の凛々しい姿に、すごいと思いました。



昨今、社会では家族内での不幸な事件など暗いニュースに気が滅入ります。今こそ道徳が大切、心を育て強い心を育て、親を大切に思う心を育ていきたいと思います。

広報部員 中野 愛子



出る杭応援隊

4月29日、「出る杭大会」はもうすぐ！

第16回出る杭大会まで、残すところあと1ヶ月となりました。龍野北高生がデザインしてくれたチラシもでき、出る杭応援隊を含む西播磨元気プロジェクトのメンバー達の準備は、協賛企業を募り、当日の誘客アイデアや、



当日の役割分担なども決め、最後の追い込みとなりました。



出る杭大会の参加への応募も次々と届いております。あとは当日のお天気を祈るだけ。晴れますように！

皆様、ぜひ「出る杭大会」に来てみてください。

チームリーダー 谷本 卓

生活安全推進チーム

私達は、「高齢者が安心して暮らせる地域づくり」と「高校生の考える地域防災・減災活動」の2つのテーマを同時に進めています。活動は予定日まで織り込んだ「活動推進計画表」に沿って進めています。メンバーからは、先の予定が明確になり、活動に参加しやすくなったと好評です。

「高齢者が安心して暮らせる地域づくり」の訪問取材は、相生市で2団体、たつの市で2団体の取材を終え、今後も西播磨各市町の代表団体を訪問します。「高校生の考える地域防災・減災活動」についても、西播磨地域の県立高校を訪問し、高校生の防災・減災活動についてヒアリングを行ないました。各高校とも地域の住民と一体となった活動を積極的に推進していました。今後は、「西播磨地域高校生防災サミット」を開催し、高校生の地域防災・減災活動を話し合う場を提供する予定です。



チームリーダー 田野本 満男

西播磨地域ビジョン委員会 facebook、HP やっています！！

みなさんは西播磨地域ビジョン委員会の facebook、HP をご存じですか？facebook では最新のビジョン委員会情報を、HP からは当面のビジョン委員会の予定が閲覧できます！！是非ご覧になってみてください！！



facebook



ホームページ

森からの命をいただく！チーム

第7期は「森・川・海の学習と再生」チームで国見の森公園にて森林セラピー講習を受けたり、赤西溪谷の現地視察を行いました。



第8期は第7期のチーム活動を受け、平成28年度より始まった宍粟市森林セラピーを支援する為、「森からの命をいただく！チーム」の提案で森林セラピー応援隊養成講座をすることになり、21名が応援隊員となりました。



今年の4月29日に開催される「第16回出る杭大会」において、応援隊を中心にブース展示を行い、宍粟市森林セラピーを皆さんに知っていただこうと思います。

チームリーダー 伊藤 一郎

若者視点からの食材推進！チーム

西播磨地域は海のものから山のものまで多種多様な食材があります。そのようなバラエティに富んだ西播磨の食材を使って手軽に調理できる料理はないだろうかと考え、若者視点から試行錯誤を重ねながら取り組んでいます。



その中で日本食に欠かせない「お米」をキーワードに、「とにかくやってみよう」の精神でおにぎり、炊き込みご飯、餅、モッフルなどお米と西播磨の食材をコラボさせ色々作っています。お米から始まり「西播磨の名物」が出来るのか、乞うご期待！



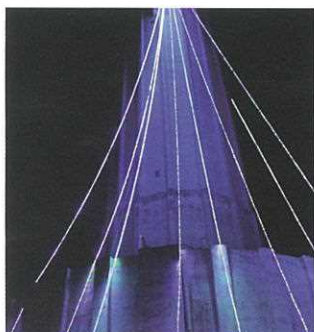
広報部員 前平 航司

西播磨ええとこ発見！チーム



7月に、「赤トンボを増やそう会」、8月に、「陰陽師の里 江川」に参加し、有名なイベントの陰に隠れた、埋もれた資源を地域外へ情報発信、ネットワーク化等に取り組んでおります。

10月22日(土)には、「坂越浦コンサート」を鑑賞し、北前船寄港地として、地域行事・活動に取り組んでおられる状況を見させていただきました。又、12月3日(土)には、揖保川町の西播磨水道企業団配水塔(高さ53m)に吊るされた超巨大イルミネーション点灯式に参加しました。オカリナ同好会「カナリヤ」の皆様に加え、今年comodo姫(第15回出る杭大賞受賞)の皆さまの演奏協力による、盛大な点灯式でした。



広報部員 永富 元

西播磨交流たのしみ発見隊

交流たのしみ発見隊は、名前のとおりのチームです。西播磨の名所・特産物、そして地域の皆さんと楽しみながら交流し、驚きの発見もたくさんありました。西播磨の全ての市町ではありませんが、中間報告です。

- ・第1回 佐用町 宿場町平福の農村カフェ記憶
- ・第2回 宍粟市 波賀町の谷村おこしの会
- ・第3回 姫路市 安富町関のかかしの里など
- ・第4回 たつの市 小京都龍野の街並み散策
- ・第5回 赤穂市 赤穂市歴史博物館と赤穂海浜公園塩の国見学
- ・第6回 相生市 関西電力相生発電所見学

実際に地域を歩き、地域の皆さんと話すということがとても良かったです。この活動を通して、たくさんの人にお世話になったこと、そして頑張っている人に出会えたことに感謝します。西播磨の皆様から刺激を頂いてきました。



チームリーダー 栗蔭 久美

人と防災未来センター見学と丹波地域ビジョン委員会との交流会

西播磨地域ビジョン委員会は、平成28年12月18日(日)「人と防災未来センター」見学と「丹波地域ビジョン委員会」との交流会を開催しました。

近年絶え間なく発生する大規模自然災害のニュースはテレビやインターネットを通じ、リアルタイムで報道され大きな関心事になっています。今後、高い確率で発生が予測されている「南海トラフ地震」、温暖化など地球環境の変化により、想定をはるかに超える風水害の発生など、日常生活を脅かす大規模な災害が予測されます。

その反面、阪神淡路大震災の発生から22年が経過し、災害記憶が薄れているとの指摘も上がっています。私達は、今回「人と防災未来センター」の見学を通して、防災・減災意識を高め、地域の防災力を高める事を学びました。館内では、各フロアの順路に沿って見学し、「1. 17シアター（阪神淡路大震災の発生時の再現ビデオ）」コーナーでは、凄まじい音声と映像効果で疑似体験しました。不幸にもご家族が被災された方、救助に駆けつけた方、それぞれの記憶が鮮明によみがえってきました。



災害はいつ起こるか予測できませんが、日頃から、災害に備えた準備と正確な情報を得る習慣をつける事が大切だと感じました。

「人と防災未来センター」の見学を終え、一路「丹波地域ビジョン委員会」の皆さんが待つ会場へ、途中交通渋滞がありましたが無事「新たんば荘」へ到着しました。西播磨地域ビジョン委員会25名、丹波地域ビジョン委員会20名。会場では、両ビジョン委員会の活動について、双方の委員長から紹介がありました。その後、昼食会場へ移動し、美味しい「牡丹鍋セット」を頂きながら賑やかに交流の輪が広がりました。

再び、交流会場（ウッディホール）へ戻り、8グループに分かれ日頃の活動について意見交換を行いました。丹波、西播磨と地域の違いはあっても、お互いに「地域を明るく元気にしよう」という思いは同じで、活動の形は違っていても共鳴できる部分も多く、あっという間に時間が過ぎました。「また、お会いしましょうね。その時までお互いに元気で頑張りましょう！」と固い握手を交わし「新たんば荘」を後にしました。

副委員長・生活安全推進チームリーダー

田野本 満男



秋の花と緑を愛でる会

平成28年10月18日(火)、兵庫県立フラワーセンターで開催された「秋の花と緑を愛でる会」に参加いたしました。好天に恵まれた当日は、当ビジョン委員会からは、それぞれマイカーや貸切バスを利用して、ご夫婦でお越しの方を含め50名ほどの参加でした。兵庫県各地から約560名の参加であったと聞きます。逸る気持ちを抑えて受付をして、それぞれ思い思いのコースを散策し、コスモス園や牡丹園、シャクナゲ園では色とりどりの花と香りに囲まれて記念撮影。そして、花に囲まれて珈琲タイム。

また、各地域から出展された盆栽の前では、「素晴らしい」と、唸る様な作品ばかり、更に地元地域からの出展作品を見ると、つい自慢したくなる衝動に駆られ話が弾む。

そしてお昼には、兵庫のおいしい名産を集めた、おにぎり弁当をいただきながら、コンサート会場で県警音楽隊の素晴らしいジャズやポピュラー音楽と、パフォーマンスを楽しみました。



更に、お茶席でゆったりとした時間を過ごした後はお買い物タイム。それぞれの思いで、お土産をいっぱい買ってゲートを出ると、シクラメンやガーベラの鉢植えをプレゼントしてもらい、身も心もお腹も大満足の日でした。

広報部員 西本 諭

宍粟市森林セラピー応援隊養成講座

講座4回、体験2回、全6回の養成講座があり、講座の最終日に修了書が手渡されました。

私はこの講座を受け、森を知り、森を散策することにより命を頂くことを学びました。

森林セラピーを体験する前と後に、健康チェック(交感神経・副交感神経バランス測定)をすると、平均的に体験後のほうが良くなっていることが分かりました。日常生活から離れ何もかも忘れて、森林セラピーガイドの案内で落ち葉がある山道を歩きながら風を感じ、小川のせせらぎや小鳥のさえずりを聴くことによって、現生活で溜まっているストレスが和らいでいくのを感じ、今後も、森林セラピーに参加をしたいと思います。

まだ、未体験の方には、森に行ってもらって自然のパワーを実感してほしいです。森は素晴らしいです。



広報部員 宮宅 禅吉

【第1回】8月25日(木)
西播磨総合庁舎1階会議室
森林セラピーとは

【第4回】10月27日(木)
西播磨総合庁舎1階会議室
宍粟市森林セラピープログラムについて

【第2回】8月28日(日)
鳥取県智頭町芦津溪谷セラピーロード
智頭町森林セラピー体験

【第5回】10月30日(日)
宍粟市波賀町赤西溪谷・赤西セラピーロード
宍粟市森林セラピー体験

【第3回】9月29日(木)
西播磨総合庁舎1階会議室
宍粟市森林セラピー基地について

【第6回】11月24日(木)
西播磨総合庁舎1階会議室
宍粟市森林セラピーの今後について・修了式

出る杭大会



でるたん

みなさん、このイラストをご存知ですか？
毎年4月29日、播磨科学公園都市芝生広場で開催される出る杭大会のイメージキャラクター「でるたん」です。西播磨地域ビジョン委員会「人の輪部会」の活動として始まり、今年で16回目を迎える出る杭大会ですが、11回大会時に、たつの市新宮町の朱弥さんが描いたイラストに、来場者からの公募で名前が決まりました。

出る杭大会って？

夢を持って新しい分野に挑戦したり、地域を元気にしようと頑張っている団体や個人が、テントブース内に写真やパネルを掲示して自分たちの活動をPRするんだよ。また、ステージでパフォーマンスすることもできるよ。



打たれても頑張っ、という前向きな願いを込めてつけられたんだよ。僕の頭を見てみて。打たれてもまた芽が出てきているでしょ！

4月29日、「出る杭大会」は西播磨フロンティア祭「イケ麺グランプリ」、「ふるさとバザール」などと同じ芝生広場で開催され、毎年約2万人の来場者があるんだよ。

出る杭大会って面白い名前だね？

出る杭大会に出場したらどうなるの？

大学の先生など審査員が地域貢献度や活動を評価し、優れた3団体に出る杭大賞として表彰状と副賞10万円が贈呈されるよ。またステージにはパフォーマンス賞が贈呈されるよ。副賞の賞金は、出る杭大会の趣旨に賛同して下さる企業や団体からいただいた協賛金から出ているよ。



編集後記



「きらきら通信」34号では、2月にたつの市内で開催されました地域夢会議の様子を中心とした報告をお届けしました。今年の夢会議は、「ワールドカフェ」方式による意見交換ということで、カフェのようなリラックスした雰囲気に参加者の会話も弾んだようです。

各チームの活動紹介では、チーム結成から10ヶ月が経ち、それぞれに活動の充実ぶりがうかがえます。

きらきら通信は、皆で一つの活動に取り組む楽しさとともに試行錯誤の様子が伝わるよう心がけ作成していきますので、今後も是非手にとって読んでみてください。

- 追伸 - きらきら通信発行に多くの皆様のご協力ありがとうございました。

広報部員 前平 航司

連絡先：西播磨地域ビジョン委員会事務局（西播磨県民局県民活動支援課内）
〒678-1205 赤穂郡上郡町光都2-25
【TEL】0791-58-2115 【FAX】0791-58-0523
https://web.pref.hyogo.lg.jp/whk02/wh01_2_000000071.html

